

社会科学習授業案

日 時 平成 24 年 10 月 4 日(木)

場 所 ○○中学校 第 3 学年教室

生 徒 男子 13 名 女子 7 名 計 20 名

授業者 ○○ ○○

1 単元名：地方の政治と自治

2 単元について

(1) 単元観

北海道東部に位置する浜中町。人口 6, 4 6 9 人（平成 2 4 年 7 月現在）の本町は漁業と農業を基幹産業としている。具体的に挙げると、日本一の天然昆布の産地であり、高級アイス“ハーゲンダッツ”の原料乳の産地としても知られている。また、本町独自の取り組みとして I S O 基準を導入しての環境保全やルパン三世を活用した地域おこしを行っている。

この単元では地方自治の仕組みを学びながら政治に参加する公民の育成をねらいとしている。具体的には「地方公共団体の組織と役割、地方自治の制度」「地方財政」「地方政治の住民参加」に分けられる。「地方公共団体の組織と役割、地方自治の制度」では、地方自治の概要にふれながら地方公共団体の仕事や首長・地方議会の役割について取り扱う。「地方財政」では、地方公共団体の歳入と歳出の内訳や地方債の推移、市町村合併が進んだ背景について取り扱う。「地方政治の住民参加」では、住民投票が地方自治に及ぼす影響力、ボランティア活動と N P O が地域社会へ与える効果について取り扱う。

学習指導要領では、イ 民主政治と政治参加 について「地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民の自治意識の基礎を育てる。」とねらいが定められており、内容の取扱いについて（ア）「調査や見学などを通して具体的に理解させること」と示されている。すなわち社会参画を担う住民の育成のため、地方自治をより身近に感じながら学習することが必要とされている。また、言語活動の充実を図るため、学び得た知識や収集した資料・情報をまとめ、発表する学び方がより重視されている。

従ってこの単元では、地方自治を通して自分たちが住む浜中町をよりよい町にしていくための方法を模索し、互いの意見を理解ながら学びあうこと。そして考え出した意見をまとめ、提案しあうことによって社会へ参画していく姿勢を養うことをねらいとする。

その具体的な取り組みとして、①グループごとに浜中町をよりよい町にするための条例を作成する。②浜中町役場を訪問した際に、条例に対するアドバイスや自分たちが感じた質問を役場担当者の方に回答していただく。③グループごとに作成した条例と役場でいただいたアドバイスをパワーポイントでまとめる。④発表会で条例を発表し、互いに作成した条例について理解・評価しあう。以上の 4 点を単元構成に取り入れ、授業を展開していく。

(2) 生徒観

《 省 略 》

(3) 指導観

以上の事と、本町教育研究所の研究内容を関連させ、次のような視点で授業を構成した。

研究主題「一人ひとりの意欲を引き出し、『確かな学力』を育む授業を目指して」

～知識・技能の習得・活用を促す授業づくりを通して～

○習得・活用・探究について

公民について考察する力、説明する力をつけさせるためには、公民的事象の「習得・活用・探究」の相互関連学習となる授業を行うことが重要である。その学習の流れは、習得（「知った」「覚えた」）→活用・探究→理解（「わかった」）⇒「もっといろんなことを調べてみよう・考えてみよう」→活用・探究→習得（「なるほど」「よく分かった」）というものである。ここに出てくる「覚えた」とは、個別事象を機械的・表面的に記憶することであり、「わかった」は、思考や表現の過程なども踏まえて学習内容を深く身に付ける学習である。これらを通じて、公民を自らの課題意識に基づき考察し自分の言葉で表現（「伝える」）できる力が育成され、学習内容の確かな理解と定着を図るものである。

「習得」・・・学ぶ知識や技能がなぜ必要なのか、どのように役立つか理解させて習得させること。

「活用」・・・習得した知識や技能を「活用」して、新たな学習内容を解釈し、考えを表明する言語活動を伴う読解型学力として定着させること。社会科では、解釈・説明・論述などの学習活動を指す。

解釈…例、「公共の福祉とはどのようなことを意味するのでしょうか」など、社会的事象の意味や意義の解釈を行うことが考えられる。

説明…社会的事象の特色や事象間の関連を説明することが求められる。

関連…原因と結果の関連や目的と手段との関連、地域間の関連（どのような依存関係があるか）などが考えられる。

論述…様々な場面について自分の考えや意見をレポートにまとめる活動などが考えられる。

ここでのポイントは、自分の結論の妥当性や根拠を挙げながら論理的に示すことである。

「探究」…課題解決のために新たな資料・情報を収集し、どうあればよいかを考察させる。

○考えたことをまとめ、自分の言葉で発言し、言語力を伸ばす授業構成の工夫

学習指導要領では、思考力・判断力・表現力等を養うため、習得した知識を活用して、社会的事象について考えたことを説明させたり、自分の意見をまとめさせたりする活動が求められている。また、考えさせる場合には、資料を読み取らせて解釈させたり、議論などを行って考えを深めさせるなどの工夫をすることが求められている。そのため、本単元では生徒が主体的に課題に取り組み、発表に至るまでの間で以下のような学習活動を取り入れている。

①浜中町をもっとよくするための意見交流

4つのグループに分かれ、浜中町の実態をグループごとに調べ、グループ内で意見交流を行い、意見をまとめる。

②浜中町役場を訪問見学

意見をまとめた上で役場を訪問し、自分たちの意見を役場の方に提案し、意見をもらう。また、役場内を見学することにより、地方自治体の仕組みと活動をより実感することができる。

③「浜中町をよりよくする条例」発表会

役場で得られた意見やアドバイス、情報をもとに自分たちが考える浜中町の未来を拓く条例を発表する。発表を聞きながら互いの特色を理解し合い、学びあう時間を共有する。

この3つの活動を中心に、生徒一人ひとりが自らの考えを具体的な形へと変化させ、そして発表できるように指導していきたい。

3 単元目標

- ・自分たちが住む地域社会への関心を高め、住民の一人として、地方自治の発展に寄与しようとする自治意識の基礎を育てる。(関心・意欲・態度)
- ・地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、具体的な事例に基づいて、多面的・多角的に考察させるとともに主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。(思考・判断・表現)
- ・調査や見学活動を通して、地方の政治について具体的にふれながら、条例づくりや発表会を通して考えを深める。(技能)
- ・住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の仕組みなどについて理解させる。(知識・理解)

4 単元指導計画（特設につき13時間扱い）

時間	本時の目標	学習活動	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町の特色や課題を把握し、地方自治について関心を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町のHPで浜中町の特色や浜中町役場が行っている仕事を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の政治に関心を持ち、自らも住人の一人として住民自治を担う存在であることに気づいている。（関心・意欲・態度）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地方議会の制定する条例と、二元代表制の仕組みを中心に地方公共団体の政治について理解する。 ・直接請求権について、住民の権利の観点から考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地で施行されている特色ある条例について調べる。 ・直接請求権の意義について考え、自分の意見をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある条例を見つけることにより、浜中町にも取り入れられるかどうか判断できる。（思考・判断・表現） ・地方自治の仕組みを、地方自治と首長の役割を中心に理解している。（知識・理解）
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体のお金がどのように使われ、財源がどのようになっているかについて理解する。 ・地方公共団体が抱える財政上の課題とその解決方法について考え、話し合ったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町の統計資料をもとに、歳入や歳出について調べる。 ・浜中町の将来の財政について話し合い、課題と解決方法を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方財政の課題と将来の財政の在り方について多面的・多角的に考え、その解決方法を表現している。（思考・判断・表現） ・統計資料から地方財政の歳入や歳出を読み取っている。（技能）
4	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加にはさまざまな方法があることを理解する。 ・今後、自分がどのように地域社会や政治に関わっていくかを考え、将来の主権者としての意識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民投票について具体例を挙げながら理解する。 ・私たちがどのような形で地域社会や政治に関わっていけるのか話し合い、意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らと政治との関わりについて多面的・多角的に考察している。（思考・判断・表現） ・住民の政治参加の方法について、そのあらましを理解している。（知識・理解）
5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町が今後もよりよい町として発展していくために必要な課題を見つける。 ・見つけた課題をまとめ、発表できる形にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ、浜中町に必要な課題を見つける。 ・見つけた課題を文章にまとめる。 <p>①浜中町をもっとよくするための意見交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町の発展に必要な課題を積極的に見つけ出すことができる。（関心・意欲・態度） ・見つけた課題をまとめることができる。（思考・判断・表現）
7 ・ 8	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町役場の各部署を見学し、様々な行政が行われていることを理解する。 ・役場の担当者に自分たちで見つけた課題を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浜中町役場を見学し、様々な仕事が行われていることを知る。 ・自分たちで見つけた課題を役場の担当者に発表し、アドバイスを受ける。 <p>②浜中町役場を訪問見学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方行政において、様々な業務が行われていることを理解する。（知識・理解） ・自分たちで見つけた課題を相手に発表し、アドバイスを聞くことができる。（思考・判断・表現）（技能）

9 ～ 11	<ul style="list-style-type: none"> ・役場でいただいたアドバイスを加え、浜中町をよりよくするための条例を作成する。 ・発表に向けての練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を通して浜中町をよりよくするための条例をパワーポイントでまとめる。 ・まとめた内容を全体に発表できるように練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な意見を効果的にまとめることができる。 （思考・判断・表現）（技能） ・分かりやすい発表にするための練習に意欲的に取り組むことができる。（関心・意欲・態度）
12	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい浜中町にするための条例を発表する。 ・他のグループの発表を通して、自分たちが作成した条例の成果と課題を学ぶ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの発表を聞いて批評しながら、浜中町をよりよくしようとしている自分たちの活動を振り返る。 <div data-bbox="639 674 1035 770" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">③「浜中町をよりよくする条例」発表会</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・条例の発表を通して浜中町をより良くしようとする思いを伝え、また批評することができる。 （思考・判断・表現）
13 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい浜中町にするための条例を発表する。 ・他のグループの発表を通して、自分たちが作成した条例の成果と課題を学ぶ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの発表を聞いて批評しながら、浜中町をよりよくしようとしている自分たちの活動を振り返る。 <div data-bbox="639 965 1035 1059" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">③「浜中町をよりよくする条例」発表会</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・条例の発表を通して浜中町をより良くしようとする思いを伝え、また批評することができる。 （思考・判断・表現）

※グループ構成について

本校3学年は20名なので1班5名で編成されている。本単元においても同様に1班5名の4グループでの活動を展開していく。

※条例のスタイルについて

条例については以下の形に基づいて作成していけるような支援を行っていく。

- ①なぜ、この条例を作ろうと思ったか
- ②生徒の目に映っている浜中町の現状を具体的に説明する
- ③条例によってどのように変わっていくか、その効果についても説明する

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 条例の発表を通して浜中町をより良くしようとする思いを伝え、また批評することができる。
(思考・判断・表現)

(2) 本時の展開 (13時 / 13時)

	生徒の活動	教師の支援	備考
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表に向けて原稿等の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表に向けての説明を行う。 ・ 意見、感想用紙を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※教師が司会を行う。
展開 (1) 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の班の発表が回ってきたらパワーポイントの準備 (ソフト起動) ・ 発表者がグループで作成した条例を発表する。 ○ 4人が発表者となる。 ○ 1人はマウスのクリック又は掲示、提示を担当する。 ・ 発表後、感想や意見を記入する。 ・ 感想や意見をもとに質疑応答を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感想記入の際により深い質疑になるようなアドバイスを与える。 ・ 質疑応答の際には論旨を外さないようにフォローを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ※発表時間は各班4分半から5分とする ※意見、感想記入は3分間とする
展開 (2) 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のグループの発表となる。 ・ 展開(1)と同様の流れとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展開(1)と同様の支援を行う。 	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャーの講評を聞く。 ・ 教師のまとめを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの班の発表と議論の推移についてコメントする。 ・ 次時の確認を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ゲストティーチャーの講評をメインに据える。

(3) 本時の評価

- ・ 条例の発表を通して浜中町をより良くしようとする思いを伝え、また批評することができたか。
(思考・判断・表現)